



▲伝習生に指導をする永田所長（左、広瀬絣技術保存会代表）。

## 伝承された技をつないで40年

### 広瀬絣伝習所

2月に開所40周年を迎えた同伝習所。これを記念して昨年の12月に、島根県立美術館で作品展を開催しました。作品展に出品した荒金弘子さんは「広瀬絣で作れる物は着物だけでなく、シャツや小物などいろいろな物があります。多くの人に作品を見ても

「自分で模様を考えて、自分の手で完成させていく。細かい作業どれ一つとつても手を抜けません。これが、広瀬絣の難しさであり魅力です」と力強く話します。

「未来につながる」という思いと同時に、40年続けることができた感謝の気持ちをもって、これからも取り組んでいきたいです」と微笑みます。

#### 【広瀬絣伝習所】

住所：安来市広瀬町町帳775

1（開館時間：10時～17時）

電話：32-2575

定休日：毎週水曜日、年末年始



「カタンツカタンツ」とリズムの良い音が響き渡ります。ここは、広瀬絣の「手織り」や「染め」などの技術を学べる「広瀬絣伝習所」。現在、24人の伝習生が伝統の技の習得に励んでいます。

「藍染めをしているので、洗う度におおの鮮やかさが増し、純粋な藍の色が出るのが特徴です」と語るのは、同伝習所の永田佳子所長。父である広瀬絣の県指定無形文化財技能保持者の天野圭氏と一緒に同伝習所を開所し、これまで200人近くの伝習生に技を伝えてきました。

「技」は、続けていかなければ消えてしまいます。伝習所で伝えることのほかに、こうした展示をすることで、多くの人に広瀬絣を知ってもらい、次の世代につないでいかなければならないと考えている永田さん。



▲令和2年12月に行われた作品展。着物やバッグ、子ども服など250点が並びました。

## 編集後記

▼広瀬絣伝習所にある藍の染料は、毎日手入れがされています。時には自分の舌に染料をつけて発酵具合を確認。必要であれば、糖分や酒を入れることも。いつも良い状態で染め上げるためには、このようなことが必須だそうです。365日手を休めないことで、伝承された技が守られています（旬）

安来市の人口と世帯数 R3.1.31現在

人口合計 / 37,672人  
(男:18,097人 女:19,575人)  
世帯数 / 14,362世帯



● 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。  
● 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課（☎ 23-3067）までご連絡ください。